

中学校第2学年 教材名「卒業文集最後の二行」(私たちの道徳)

いじめは、する人もされる人もいやな気持ちになってしまうと思う。いじめをしている人は、いじめている時は楽しくても、大人になってから後悔してしまうのではないだろうか。私も今までだれかがいじめられていても知らないフリをしてしまったことがある。いじめられている人がどんな思いでいるのかをしっかりと考えて行動，発言をするべきだと思った。

自分も小学生の時に周りがやっていたいじめにびんじょうして少しからかったりしてしまったことがありました。

しかし、今では何で助けて「あげなかったんだらう？」とか「止めてればよかった」と思います。

だから作者の気持ちにもすごく共感できます。

でも、いじめはあってはならない事だと思うので、いじめをされている人がいて、されている人が一生残る深い傷にならないように、側にいて助けることが一番だと思いました。

イチノへさんは、T子さんの気持ちをわかろうともせず、「自分よければすべてよし」のような考えで、すごく卑きょうだなと思いました。後になって後悔しても、とり戻すことの出来ない過去だなと思いました。

T子さんの我まんしていた気持ちを考えるととても胸が痛くなる。イチノへさんは、自分中心の考えだったから、T子さんの気持ちをわかってあげれなかったんだと思いました。